

**日本リハビリ協会会長に
渡辺恭良氏(理化学研究所生命機能科学センター)が就任
新たな組織体制の下、
社会の「リハビリ(休養)リテラシーの向上」を目指す**

一般社団法人日本リハビリ協会(事務局:神奈川県厚木市、代表理事:片野秀樹)は、この度、渡辺恭良氏(理化学研究所生命機能科学センター長)を会長にお迎えしましたことをお知らせ致します。

世界最先端を行く日本の疲労科学をけん引する渡辺氏は、所属する理化学研究所にて疲労研究の第一線で活動する傍ら、日本疲労学会理事長としても活躍。世界一受けたい授業やTBS 夢の扉などテレビ番組に多数出演し、疲労研究の第一人者として広く活躍中です。

さらにまた、様々なスポーツ・医・科学の視点からのリテラシー向上を目指し、顧問に大谷泰夫氏(神奈川県立保健福祉大学 理事長、元厚生労働省審議官)、杉田正明氏(日本体育大学体育学部 教授、日本陸連 科学委員会委員長)、松木秀明氏(東海大学医学部 客員教授、健康評価施設査定機構 理事)の3名に着任いただき、社会に伝えるべき「リハビリ(休養)」を体系化し社会発信を行います。

渡辺恭良氏 略歴



国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学センター長

大阪市立大学医学部 名誉教授

一般社団法人日本疲労学会理事長

一般社団法人日本リハビリ協会会長

1976年京都大学医学部卒業、1980年京都大学大学院医学研究科博士課程修了(医学博士)。大阪医科大学講師、大阪バイオサイエンス研究所研究部長、大阪市立大学大学院医学研究科教授、理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター長等を経て、現職。

◆日本リハビリ協会とは

「リハビリ（休養）リテラシーの向上で、一億総主人公化社会に」

『とても疲れてしまったので明日会社（学校）を休ませて頂けませんか？』

このような相談を受けた場合、あなたはどのように応えますか。

あなたの応えそのままが、日本社会の休養に対する考え方だと私たちは思っています。

国民の2人に1人が疲労を抱えて生活を送っている現代において、休むことの大切さを伝え、その重要性についての啓発・教育などの実践に取り組むことで、社会の休養リテラシーの向上により人と休養の関係性を変え、さらに科学に裏付けられたソリューションの提案を行う休養市場を創造し、ヒトが元気に意欲的に生活できる社会（各個人が主人公のような社会）を一般社団法人日本リハビリ協会では目指しています。

◆組織体制

名称：一般社団法人 日本リハビリ協会

所在地：神奈川県厚木市中町4-4-13 浅岡ビル4F

会長：渡辺恭良（理化学研究所生命機能科学センター、大阪市立大学医学部 名誉教授）

顧問：大谷泰夫（神奈川県立保健福祉大学 理事長、元厚生労働省審議官）

杉田正明（日本体育大学体育学部 教授、日本陸連 科学委員会委員長）

松木秀明（東海大学医学部 客員教授、健康評価施設査定機構 理事）

代表理事：片野秀樹 博士（医学）（日本体育大学研究員、ゲンキ・バイタルアカデミー諮問委員）

提携：ゲンキ・バイタルアカデミー（スイス）

<http://www.genki-vital-academy.com/>

<お問い合わせ先>

一般社団法人 日本リハビリ協会 運営事務局

info@recovery.or.jp